

## 会議記録

委員会の名称	熊谷市事務事業評価外部評価委員会
開催日時	平成24年8月7日(火)、9日(木)、10日(金) 午前9時30分から午後3時10分まで(7日) 午前9時50分から午後3時10分まで(9日、10日)
開催場所	熊谷市役所603会議室(7、9、10日)、商工会館大ホール(7日)
出席者	委員 8名 事務局 5名
傍聴人	10名(3日間の延べ人数)
問い合わせ先 (所管課)	総合政策部行政改革推進室(市役所本庁舎3階) TEL 048-524-1111(内線216)
内容	<p><b>1 概要</b></p> <p>1日目(7日)は開会式の後、8名の委員が4名ずつA・Bの2班に別れ、各班がそれぞれ6事務事業を分担し、合計で12事務事業の評価作業を実施した。</p> <p>2日目(9日)はB班が、3日目(10日)はA班がそれぞれ6事務事業ずつの評価作業を実施し、3日間で合計24事務事業の評価作業が終了した。</p> <p><b>2 各事業の評価結果と主な委員意見</b></p> <p>(1)【8月7日(火) 1日目】</p> <p>ア 事業番号〔A-1〕 事務事業名〔ごみ減量対策事業(生ごみ処理容器等購入費補助)〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生ゴミの処分以外のごみ減量について目標値を立て取り組んでいる。このことは非常に良いことだと思う。</li> <li>○生ごみ以外についてもっと多様な取組があり、他の自治体でどのような施策を展開しているのかについて多角的に調査し参考にして欲しい。</li> <li>○生活態様の变化により、これからはプラスチックのゴミが増えてくるのではないか。</li> <li>○子どもの意識啓発を行っているが、大人も含めやはり意識が大切である。</li> <li>○一定量のごみ袋は配布し、それ以上出す分は有料化にするといった方向もあるのではないか。</li> <li>○ごみ袋の有料化は真剣に考える時期に来ている。</li> </ul>

## 会議記録

内容	<p>イ 事業番号〔A-2〕 事務事業名〔高度情報化推進事業（ITアドバイザー支援業務委託）〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○システムの精査において、2千万円の減額が図られた事業もあるがほとんど適正な見積もりが提出されており、精査しても縮減が図られていない。</li><li>○情報政策課の職員がシステムのオーバースペックについて見抜けなからい。</li><li>○組織の中の理系の職員を専門家に育成する研修等を考えたほうが良い。様々な計画を立案する中で、組織の中にそういった人材がいたほうが良いと思う。</li><li>○高額なシステム改修は精査の必要があると感じるが、金額の少ないシステム改修はそこまで精査する必要があるか疑問を感じる。</li><li>○市の人事とも関連し、情報システムしか携われない職員を養成することの問題もあると思われ、システムの精査は必ずしも内部職員のみで実施する必要はないと感じる。</li><li>○職員も知識があるので、ある程度の金額等の基準により精査を委託する対象の事業を選定し、それ以外は職員を活用することも良いと思う。</li><li>○一年を通じて全てのシステム改修を対象とするのではなく、スポット的に契約し精査するなど、精査の仕方を工夫する必要がある。</li></ul>
	<p>ウ 事業番号〔A-3〕 事務事業名〔航空写真作成事業〕 評価結果〔継続（当面は3年に一度の実施）〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○航空写真は必要だとしても、毎年撮影しなくても、ほかのデータ等で補完することでコストが安くないか。</li><li>○グーグルの地図を見てみたが、解像度が課税データほど鮮明でないにしても利用はできないか。</li><li>○航空写真のデータを資産税の賦課だけに使用するのはいらない気がした。都市計画などほかの分野に利用できないか。</li><li>○納税者に説明して、納得してもらった資料としてあったほうが良いことは理解できるが、毎年800万円もの費用をかける必要があるか疑問である。</li><li>○家屋データがデジタル化されて、様々な活用ができることが現実味を帯びた時点で毎年の撮影といった提案もあると思う。</li></ul>
	<p>エ 事業番号〔A-4〕 事務事業名〔納税コールセンター運営事業〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○電話での内容に、分割して納付することやコンビニ納付など納税しやすい</li></ul>

## 会議記録

内容	<p>方法を説明することは必要と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○電話では接触できない場合もあるが、葉書で有れば確実に配達されるため効果的である。</li><li>○携帯電話に納税催促のメール送信することはできないか。</li><li>○携帯電話では、番号が変わっている場合もあり、相手を確認するなど慎重な対応は必要である。</li><li>○複数回の架電によって、最初は重大に対応してくれたものが慣れにより効果が低減することの対策を含め多面的な方策の検討をする必要がある。</li></ul> <p>オ 事業番号〔A-5〕 事務事業名〔介護保険特別対策事業（介護保険居宅サービス利用者負担軽減事業）〕 評価結果〔改善〕 〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○低所得者への対応はあれば有ったでよいが、担当者の事務煩雑さと支給金額を比較し必要性に疑問を感じる。</li><li>○担当者のジレンマは感じるが支給額からするとほかの制度で支援することはできないか。</li><li>○ほかの市の担当者話し合い、効果的な方法に変更していくことはできないか。</li><li>○対象者を拡大すると現在よりなお事務処理が煩雑になるため、支給割合を上げて効果を増加するほうが優先的といえる。</li><li>○1ヶ月の支援額を増やしてあげたほうが良いと考えると評価は「拡大」となるが、現在の仕組み以外の実質的な支援策をデザインしていただくことと事務処理の簡素化を検討することを改善してほしい。</li></ul> <p>カ 事業番号〔A-6〕 事務事業名〔交通災害共済事業〕 評価結果〔改善〕 〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○見舞金の金額からは、魅力を感じられない。</li><li>○民間の保険との違いを考えると、民間の保険に加入している人が交通災害に加入するとは考えられないが、民間保険に加入していない高齢者の方をカバーしている点は意義がある。</li><li>○自治会を通じての加入は、若い人にとって個人情報が出てしまう懸念を抱かせる。</li><li>○コンビニ窓口で申し込めるなど申込窓口が拡大できないか。</li><li>○自治会への依存度が強い加入促進のやり方では限界を感じる。</li><li>○加入促進方法について自治会にこだわらず検討する余地がある。</li></ul>
----	---

## 会議記録

内容	<p>キ 事業番号〔B-1〕 事務事業名〔総合交通体系整備促進事業〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○路線に様々な工夫を凝らしてあるのは見て取れるが、妻沼がせっかく今、観光スポットとなっているのだから、ゆうゆうバスを使ってお勧め観光スポットをまわるような企画もできるのではないか。</li><li>○100円という料金設定でよいのか。もともとバス会社が見切って廃線にした路線であるから、採算が取れるとは思わないが、利益率が20%台というのは、あまりにも低すぎるのではないか。</li><li>○全国的に見ても同様にこのようなバスはほとんど採算が取れない。</li><li>○一定の人数を超えたらというようなインセンティブ契約を今後盛り込んでいかないと、バスの事業者は赤字も補填してもらえるとということで、積極的な利用促進PRを行わない可能性が強い。</li><li>○果たして高齢者の運賃を無料にすることが全てにおいて妥当なのか。</li></ul>
	<p>ク 事業番号〔B-2〕 事務事業名〔男女共同参画推進事業〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○一部は熱心な活動を行っているが、まだまだ市民が無関心な状態である印象を受ける。</li><li>○どの世代をターゲットとするのかによっては広報手段が変わってくる。</li><li>○意識調査をする際にももう少し詳しく明確に調査したほうが、これだけの資金を投じているのだから、具体的な目標を設定する際にも良いだろう。</li><li>○現代の子どもたちには男女共同の意識が根付いてきているのかもしれない。むしろ、年齢が上がれば上がるほど、男女の役割分担についての意識を持った人が多いように感じる。</li><li>○現在、各分野のトップにはご年配の方が多くいることから、こういった方々にも、意識の面での働きかけを続けていく必要がある。</li></ul>
	<p>ケ 事業番号〔B-3〕 事務事業名〔民生児童委員活動推進事業〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○委員になるにあたっての年齢制限は、家庭とのバランス、専門知識の蓄積面から見て厳しいと感じる。</li><li>○大変な仕事であるので委員の枠を増やすことが出来れば多いほうが良いが、そのことで委員のなり手が不足するとの問題を生じさせる。</li><li>○なり手不足により定員を増やせないと、一人当たりの仕事がますます大変</li></ul>

## 会議記録

内容	<p>になってくる。</p> <p>○更に横のつながりとしての各種団体との連携の推進や安心して民生委員になってもらえるようなサポート体制の整備が求められる。</p> <p>コ 事業番号〔B-4〕 事務事業名〔特別保育事業（広域的保育所利用事業）〕 評価結果〔 中止・廃止の検討を要する 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <p>○児童の在籍している保育所の場所が籠原周辺であり、必要に応じ「ことぶきイーサイト保育園」に入所することができるのではないかと。</p> <p>○利用者が限定されているなかで、公的投資の必要性について事業の目的に照らして検討して欲しい。</p> <p>○事業の意義は完了して次の段階に進むべきと考える。</p> <p>○行政としては既に提供しているサービスを急に打ち切るのはよくないため、中止・廃止の方向で検討を進めて欲しい。</p> <p>サ 事業番号〔B-5〕 事務事業名〔星川あおぞら市事業〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <p>○ターゲットが決まっているのであれば、その対象に商品を絞込み実施することが必要である。</p> <p>○現在の結果の原因を検証することは必要である。</p> <p>○人の賑わいを生むには、建物を作っても人は集まらない。星溪園や石上寺は盛り立てても良い文化的資源である。</p> <p>○知的好奇心を抱くような文化的要素を入れ込んでイベントを展開する方策も考えられる。</p> <p>○街の中心を流れる星川というブランドをどのように活かしていくかを検討して欲しい。</p> <p>○いままで頑張ってくれたメンバーを見直し、新たな協力者を得てイベント内容に変化を持たせる工夫も必要である。</p> <p>シ 事業番号〔B-6〕 事務事業名〔企業誘致推進事業〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <p>○企業誘致は企業のニーズと市のリクエストが一致して成立するものであり、全国で同様な取組がされているなかで、何で熊谷なのかがはっきりしないと誘致できない。</p> <p>○本店がある企業を誘致するほうが良い。</p>
----	--

## 会議記録

内容	<p>○熊谷市の将来ビジョンに適応した企業を誘致することが大切で、経済波及効果だけでなく環境生活波及の考えで、将来的に定住したい企業を集めることで街に特色が出てくる。</p> <p>○場当たりの企業訪問するだけでなく、対象を選んで訪問して欲しい。</p> <p>○工場系が資源としての水に魅力を感じていることは、熊谷の良さである。</p> <p><b>(2)【8月9日(木) 2日目】</b></p> <p>ス 事業番号〔B-7〕 事務事業名〔畜犬登録等実施事業〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <p>○現在は、集団接種よりも獣医さんのところでの個別接種のほうが料金が高い。集団接種する機会を全てなくすことは無理だが、個別接種を希望する方も多いため同じ制度のなかで同じ料分で接種できるようにして欲しい。</p> <p>○狂犬病予防注射率の向上には登録犬頭数を減らすか、注射頭数を増やすかであるが、前者は死亡届出について獣医師や葬儀施設、ペットショップ等にも配置し周知を徹底することで対応し、後者は獣医師協会等の活動のなかで広報活動を行ってもらうことで対応してはどうか。</p> <p>○登録制度の周知が重要であり獣医師等との連携を強化することが必要である。</p> <p>セ 事業番号〔B-8〕 事務事業名〔害鳥駆除事業〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <p>○農産物被害の現状とこの事業による効果について実態調査を行い、客観的に現在の実施規模が適切かを判断して欲しい。</p> <p>○アンケート調査など被害の実態調査を進めることが第一である。</p> <p>○獣害など害鳥以外による被害が増えて対応が必要となれば、様々な駆除方法も検討し、ほか部署と連携し、農産物の被害と市民の安全面の観点から事業を再検討して拡大して実施すべきである。</p> <p>ソ 事業番号〔B-9〕 事務事業名〔公園サポーター制度推進事業〕 評価結果〔改善〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <p>○自治会との関わりで活動することに抵抗をもつ人も増えてくる。</p> <p>○公園を造っても人は集まらない。</p> <p>○公園の活用について、子どもを集めて公園の草取りを遊びとして実施してくれる団体の発掘など公園で遊びのイベントを実施しながら、清掃も含め</p>
----	---

## 会議記録

内容	<p>利用の仕方を工夫することが必要と感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○自治会の方は公園の清掃だけを請負うが利用はしない。</li><li>○自由に公園を利用することで、管理をデザインすることが必要である。</li><li>○活動資金のため資源回収を実施している子ども会や熊子連に協力してもらうことで、それらの団体の資金源にもなるし、お祭りなどのイベントを実施しながら子どもたちに愛着をもって利用してもらえるのではないか。</li><li>○協力金の算出について、一律の計算式でなく工夫が必要である。</li></ul> <p>タ 事業番号〔B-10〕 事務事業名〔流域貯留浸透事業〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○熊谷というところは、洪水の被害はないと思っていたが。</li><li>○事業名称（流域貯留浸透事業）について、現在は維持管理のみの事業内容になっているので検討を要する。</li></ul> <p>チ 事業番号〔B-11〕 事務事業名〔地域住宅推進事業〕 評価結果〔 各委員の意見を取りまとめ評価に代える。 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○市営住宅は災害発生時にも利活用の可能となる大事なストックでもある。</li><li>○公的住宅の本来の役割を議論するためには、市営住宅の運営上の全体的な費用が分からないと判断できない。</li></ul> <p>ツ 事業番号〔B-12〕 事務事業名〔子ども教室開設事業〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○川越のNPO法人が「こども大学」として、例えば、税金についてなど、学校では教えないような内容を教えている。子どもを取巻く環境からみた事業の意義ということであれば自然科学、歴史にとらわれず、総合的に別の内容でも良いのではないかと思う。</li><li>○教室の募集告知については、一考願いたい。</li><li>○講師の後継者については、受講経験者にボランティアやアシスタントとして手伝ってもらうなどしながら、発掘してはどうか。</li><li>○学校教育が「覚える」ことが中心となっている中で、「考える」力を引き出す意味ですばらしい事業であり意義がある。</li></ul>
----	---

## 会議記録

内容	<p>(3)【8月10日(金) 3日目】</p> <p>テ 事業番号〔A-7〕 事務事業名〔国保組合補助事業〕 評価結果〔 縮小 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○国保組合を立ち上げ当初は財政基盤が弱いため補助した経緯はわかるが、ほかの業種との公平性を考えると自主独立で運営するのが適当であり、事業の見直しを検討する必要がある。</li><li>○この2国保組合以外の市民から素朴な疑問として、なぜこの団体だけ補助を受けるのか質問が出ると思う。</li><li>○補助する理由は組合の財政基盤が弱いからであり、担当課は財政基盤が健全か脆弱であるか正確に把握するべきである。</li><li>○国民健康保険を参考に考えると、スポーツ大会などのレクリエーションの部分まで税金を投入することに意味はあるか。</li><li>○健康増進事業という観点で、肉体労働による身体のケアという点が当初強調されていたとすれば、現在の状況は、事務職に対しても、心のケアという点が焦点となっている。</li><li>○将来的には国保組合に財政基盤の拡充に努力してもらい、補助金がなくても事業が継続できるよう働きかけてもらいたい。</li></ul>
	<p>ト 事業番号〔A-8〕 事務事業名〔障害者就労支援事業（喫茶室「たんぼぼ」運営補助事業）〕 評価結果〔 改善 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○運営費の60%が人件費、さらにそのうちの68%が健常者の人件費となると、障害者の就労支援という意義が薄れていることは動かせない事実である。</li><li>○熊谷文化振興財団によるイベントの増加が期待されるが売り上げには結びつかず、施設老朽化による支出負担が見込まれること等を考慮すると、違ったかたちで障害者の就労支援のアプローチがないかとの疑問が出てくる。</li><li>○立地条件から集客数の増加が難しいのであれば、他の民間企業等で障害者を雇用したところに補助をするといった方法のほうが有効と思われる。</li><li>○障害者の訓練の場でありながら、接客の機会が限られてしまい、ほかの訓練の方法のほうが効率的であるということにならないか。</li><li>○健常者の勤務時間を減らし、障害者の勤務時間を増やすなど健常者に比べ障害者の勤務割合を増やすことはできないか。</li></ul>



## 会議記録

内容	<p>ナ 事業番号〔A-9〕 事務事業名〔登校支援推進事業〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○立正大学の学生ボランティアの活用はいいと思う。NPO 法人カタリバなどのような NPO 法人の活用や有償ボランティアの体制も必要と感じる。</li><li>○さくら教室から通常学級への復帰は難しいと思うが、さくら教室に来ていない子どものほうが問題性は高いと思う。</li><li>○いじめ等が多いなかでもあり、きめ細かな対応が必要なので、基本的に拡大が望ましいと思う。</li><li>○学校に登校できない子どもにとって、さくら教室に来ることが第一歩となるので、受け入れる体制の支援、拡充を目指して欲しい。</li><li>○市内で1箇所だけでは地理的制約から難しい人も出てくる。週1回でも出向いて対応するサービスの提供のあり方は検討できないか。また、送迎バスで対応するなども考えられないか。</li></ul>
	<p>ニ 事業番号〔A-10〕 事務事業名〔景観形成事業〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○指標の美しいと思う市民の割合の設定は、人により美しいと思う基準が異なり、質問設定に疑問を感じる。また、住みたい町の指標も、景観との関連性が薄いと思う。</li><li>○景観を損なうものについての認識は一致しているので、それを無くしていくことを指標として設定はどうか。</li><li>○美しい町並みや景観は個人により異なる。画一的にすることはなく、住んでいる人が何に美しさを感じるかを的確に把握して、住んでいる人が美しいと感じる要素を強化していくアプローチをしたらどうか。</li><li>○多くの市民が景観に対する意識を抱くよう啓発に努めること。</li></ul>
	<p>ヌ 事業番号〔A-11〕 事務事業名〔防災行政無線維持管理経費〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○防災の施設であり必要施設である。</li><li>○デジタル化の技術の進歩により低価格となり、整備を遅らせることにより予算が少なくて済む場合もある。</li><li>○デジタル化の整備には約10億の予算が一度に必要となるため、積立等により対応してはどうか。</li></ul>

## 会議記録

内容	<p>ネ 事業番号〔A-12〕 事務事業〔消防水利整備事業〕 評価結果〔 継続 〕</p> <p>〈主な委員意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○熊谷の場合は、災害としては津波被害といったことよりも、地震のときの火事が想定されるため充足していく必要を感じる。</li><li>○水利充足率73%は全国平均が81.6%とするとやや低い充足率となっている。</li><li>○消防水利の効率的な設置に他課所管の航空写真は利用できないか。</li><li>○消防水利として学校プールやプールの位置を確認しているか。</li><li>○事業の必要性は十分に認められるため箇所ごとの優先順位をつけて整備を進めること。</li></ul>
----	---